

会 議 録

会 議 名		燕市健康づくり推進委員会		
事 務 局		健康福祉部健康づくり課		
開催日時		平成30年8月7日（火） 午後1時30分から午後3時00分		
開催場所		燕市役所 会議室301		
出席者	委 員	水澤委員、佐藤委員、外石委員、武藤委員（代理）、坪川委員（欠席）、遠藤委員、柴山委員、曾根委員、岩本委員、高畑委員、平原委員、阿部委員、川瀬委員、田村委員、瀬戸委員、田中委員、本田委員、櫻井委員、岩田委員、細川委員		
	事務局等	健康福祉部：佐藤部長／健康づくり課：丸山課長、富所補佐、細貝副主幹、篠田副主幹、原副参事、坂井副参事、高野専門員、高宮専門員、羽入田専門員、佐藤主査／長寿福祉課：熊谷課長／社会福祉課：田瀬課長／社会教育課：更科課長		
公開可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合はその理由				
次 第		<p>1 開 会 丸山課長</p> <p>2 あいさつ 佐藤部長</p> <p>3 委員紹介 丸山課長</p> <p>4 議 題 (1) 会長、副会長の互選について (2) 平成29年度「第2次燕市健康増進計画」の進捗状況について (3) 平成29年度「第2次燕市食育推進計画」の進捗状況について (4) 平成29年度「燕市歯科保健計画」の進捗状況について (5) その他</p> <p>5 閉 会 水澤副部長</p>		

平成30年度第1回燕市健康づくり推進委員会 会議録要旨

平成30年8月7日（火）

午後1時30分から3時00分

市役所：会議室301

（健康づくり課長）

開会前ではありますが、資料のご確認をお願いいたします。

本日机上配布させていただきました次第、委員の皆様の名簿、座席表、当委員会の規程、事前質問票、事前に配布させていただきました資料1-2の差し替え分、その他パンフレット、チラシと続きまして、最後に2年間皆さまに委員をお願いさせていただくということで、委嘱状も合わせて配布させていただいております。

なお、会場スペースの関係上、皆さまにお配りした座席表の事務局の配置が一部変更となっていることをご了承ください。

資料1-1から資料3-2につきましては、事前に配布させていただきましたが、本日も持参いただくようご案内させていただきましたが、資料のない方がいらっしゃいましたら、お声掛けいただきたいと思います。

1 開会（丸山課長）

定刻となりましたので、只今より、平成30年度第1回燕市健康づくり推進委員会を開催させていただきます。委員の皆さま方には、ご多忙のところお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。

日頃、皆さま方には当市の保健推進事業に温かいご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

本日、会議全体の進行役を務めさせていただきます、健康づくり課長の丸山と申します。よろしくをお願いいたします。

申し訳ありませんが座らせていただきます。

本日の出席状況でございますが、坪川委員から欠席の連絡をいただいております。

また、三条地域振興局健康福祉環境部の武藤委員の代理で関地域保健課長代理よりご出席をいただいております。

委員20名中19名出席と過半数を超えておりますので、健康推進委員会規程第6条2項によりまして、本会議は成立いたします。

それでは、次第の2、佐藤健康福祉部長より一言ごあいさつ申し上げます。

2 あいさつ（佐藤部長）

皆さま、こんにちは、健康福祉部長の佐藤でございます。

この4月より健康福祉部長を拝命しておりますが、皆さま方には、前職である健康づくり課長の頃からお付き合いいただいております、引き続きお世話になりますが、よろしくをお願いいたします。

本日、第1回燕市健康づくり推進委員会の開催にあたりまして、委員の皆さまには、ご多用の中、また暑さ厳しい中、ご出席賜り厚く御礼申し上げます。

日頃、皆さまには当市の保健福祉行政の推進に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、皆さま方にはこの度、今年度と来年度の二年間、燕市健康づくり推進委員会委員を委嘱させていただきました。

この会議は年に2回ほど予定しておりますが、健康づくりの分野は「赤ちゃんから高齢者まで」と幅広く、また一部福祉とも関連しているということで非常に幅広い分野でございますので、身近な問題や、日ごろ皆さま方それぞれの立場でお感じになっていることを意見交換していただければと思っております。

また、事務局の方も顔ぶれが一新しております、皆さま方との繋がりを大事にして健康づくりを推進していきたいと思っております。

昨年度は第3次燕市健康増進計画策定の年ということで、皆さま方からも多くのご意見を頂戴したところでございますが、今年度はまた新たなスタートの年度ということで、事業の繋がり、人との繋がりを大事に、事務局をはじめ、既に取り組み始めているところでございますので、また皆さまとご協議をさせていただきながら進めていければと思っております。

それでは、本日も、皆さま方から忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。開会のごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 委員紹介（丸山課長）

続きまして、次第の3、新たに2年間の委員をお願いいたします皆さまの自己紹介をお願いいたします。

お手元に、名簿がございますが、名簿順に所属とお名前をお願いいたします。

それでは、名簿1番の水澤委員さんからお願いいたします。

「委員自己紹介」

「職員の紹介」

4 議題（1）会長、副会長の互選（丸山課長）

次に、次第の4、（1）会長、副会長の互選に移りたいと思います。

【委員会設置の趣旨説明】

燕市健康づくり推進委員会規程第5条によりまして、会長、副会長の互選をお願いしたいと思いますが、自薦、他薦、どちらでもよろしいのですが、いかがでしょうか。

（委員）

（声なし）

（丸山課長）

特にご意見がないようであれば、事務局案をお示しさせていただきます。事務局案といたしまして、会長に柴山委員、副会長に水澤委員をお願いしたいと考えておりますが、皆さまいかがでしょうか。

（委員）

一同拍手（異議なし）

(丸山課長)

それでは、これから2年間は柴山会長、甲田副会長のもと、当委員会を進めていきたいと思っております。

規定第6条に基づきまして、会議の進行をお願いしたいと思っておりますので、指定のお席の方へお願いいたします。

柴山会長、甲田副会長、一言ずつお願いいたします。

(柴山会長あいさつ)

あらためまして、皆さまこんにちは。

また、引き続きまして、2年間会長を務めさせていただくことになりました。

スポーツ協会の会長も含めまして、最後の任期と考えておりますが、新しい委員さんの顔触れが増え、活気があるように感じます。特に自薦で委員なられた方におかれましては、意欲的な意見を期待しております。

どうか委員の皆さま方のご協力をまた、よろしくをお願いいたします。

(水澤副会長あいさつ)

今年初めてこちらの委員会に参加させていただきます、水澤でございます。

我々医師は、医師になる時から、病気を見つけたり、診断したり、治療したり、ということを通じて学んできましたが、最も大事なことは病気にならない、一般の方を病気にしないということがとても大事な事かと思っております。

そういう意味では我々医師の意識というのは、病気になる前が一番大切とは言え、どうしても忙しくて目がそこまで行き届きません。ですから、逆にこのような場を勉強の場としてしっかり受け止めて、また医師会の方へ持ち帰って、医療側としても色々考えていきたいと思っております。

今日はそういった意味で勉強させていただきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

(丸山課長)

ありがとうございました。

それでは、次第の4議題の進行につきまして、柴山会長、よろしくをお願いいたします。

議題(2) 平成29年度「第2次燕市健康増進計画」の進捗状況(柴山会長)

(柴山議長)

それでは、さっそく、議題に移らせていただきます。議題の(2)「平成29年度第2次燕市健康増進計画の進捗状況について」、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

資料1-1、資料1-2に基づいて説明

(柴山議長)

ありがとうございました。

それでは、只今の報告について、委員の皆さまからご質問・ご意見がございましたら、挙手をお願いします。

しばらくして質問も無いようですので、次の議題に移ってよろしいでしょうか。

(委員)
異議なし。

議題（３）平成２９年度「第２次燕市食育推進計画」の進捗状況（柴山会長）

(柴山議長)

それでは、議題の（３）「平成２９年度第２次燕市食育推進計画の進捗状況について」、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

資料 2-1、資料 2-2 に基づいて説明

(柴山議長)

ありがとうございました。

それでは、只今の報告について、委員の皆さまからご質問・ご意見がございませんでしょうか。

(柴山議長)

ないようですので、私の方から一つ質問させていただきます。資料 2-2 で行っていない項目は空欄ということですが、何故行わなかったのでしょうか。

(事務局)

ご質問ありがとうございます。平成 29 年度に実施していない項目につきましては、毎年計画が確定する前に、市内全域の小学校 5 年生と中学校 2 年生の保護者について実施しているアンケートでございます。次の計画の前の年に例年とっているもので、毎年行っているアンケートでなかった為に、29 年度の値が載っていないということです。

(柴山議長)

ありがとうございました。

そのほか、ございませんでしょうか。

(委員)

このような食育のデータを学校側は知っていらっしゃるのでしょうか。

(事務局)

計画を策定する前にアンケートを取るのですが、アンケートをとった後に学校ごとのデータと市内全域のデータということで各小学校・中学校には還元しております。

(委員)

そういうことの積み重ねでパーセンテージが上がってきたものと思われますので、今後もしっかりと継続して行っていただきたいと思います。

(柴山議長)

ほかに質問・ご意見はございませんでしょうか。

しばらくして質問も無いようですので、次の議題に移ってよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし。

議題（４）平成２９年度「第２次燕市歯科保健計画」の進捗状況（柴山会長）

(柴山議長)

それでは、議題の（４）「平成２９年度燕市歯科保健計画の進捗状況について」、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

資料 3-1、資料 3-2 に基づいて説明

(柴山議長)

ありがとうございました。

それでは、只今の報告について、委員の皆さまからご質問・ご意見がございませんでしょうか。

(委員)

質問ではないんですけど、国の方針で、経済財政運営と改革の骨太の基本方針で昨年、歯科の文言として、将来に渡る歯科検診ということが謳われました。

結局、18歳の高校生までは検診があるのですが、それ以降は35歳から歯科検診があるのですが、それまでの期間、ご本人の意識がないとなかなか歯科に受診されない状況となりまして、その辺をいかに高めていくかが今後必要ではないかと思われます。

2025年までは高齢者が急激に増えていくと思われませんが、それ以降は高齢者は緩やかな増加ということで、逆に生産人口が現役世代が急激に減少するということです。今の20代の人たち、今から22年後ですから、その方たちがちょうど働き盛りになった時にやはりある程度、口の中を予防的な観点で維持していただくということが非常に大切かなと思いますので、引き続き20代の方たちのケアということを、今後我々と一緒に検討していただければと思います。以上です。

(柴山議長)

ありがとうございました。そのほか質問はございませんでしょうか。

それではしばらくして質問がないようですから、次に移ります。

その他の方で事務局のからご用意したもの、お願いします。

(5) その他

(事務局)

それでは、来年度の「つばめ元気かがやきポイント事業」について報告いたします。健康づくり課の高宮です。資料4をご覧ください。

資料4に基づいて説明

(柴山議長)

はい、ありがとうございました。

この元気かがやきポイント事業についてご質問はございますでしょうか。

しばらくしてないようでありますから、事務局からの説明があるということをお願いいたします。

(事務局)

すいません、もう一つ産後ケア事業ということで、今日当日配布をさせていただいてありましたチラシを見ていただいてよろしいでしょうか。

先ほど第2次燕市健康増進計画の中でも報告させていただきましたが、昨年度より、育児不安を和らげて安心して産み育てられる街づくりということで、産後ケア事業を開始させていただきました。

昨年度は医療機関が一か所でしたけれども、今年度からなるべく使いやすい体制をとりたいということで、なるべく出産した医療機関でそのままお使いできる方が増えるようにという意味も込めまして、三条市・新潟市の医療機関を含めまして裏面の方に書いてございますが、12医療機関が増えまして、13か所となっております。

ますますこれから使っていただける方が増えるように、またこちらでもPRしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(柴山議長)

はい、ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問等ございませんでしょうか。

(委員)

今の説明を聞き、資料裏面の一覧表を見ると、燕市は産後ケア事業を使えるところが1件しかないようですが、なぜ増えないのでしょうか。

(事務局)

産後ケア事業につきましては、宿泊型とデイサービス型と持っておりまして、宿泊型については、病室及び食事の提供ということで、基本的に医療機関の方に委託をさせていただいている事業でございます。

燕市において、今出産をできる医療機関が1か所となっておりますので、燕市内では1か所ということになります。よろしく願いいたします。

(柴山議長)

はい、ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

(委員)

資料 1-2 の第 2 次燕市健康増進計画総括表の中の 3 ページですか、健康診断・がん検診のところで、確認させていただきたいと思います。

3 ページのところのメタボリックシンドローム該当者の割合で、男性のところは三角になっていますが、女性のところも三角ですけれども 10%以下だから、きっとそこを見ると 12.2 とか 10%を超えていますので、女性のところもここは三角、黒三角でいいのでしょうか。

(事務局)

はい。そのとおりです。

(委員)

それでメタボリックシンドロームの該当者の割合が男女とも低いと、目標値に比べて、達成率が低いわけです。一つ目は、先ほど健康づくり課の方から、これを改善するためには訪問による個別支援・指導の充実ということで、お話がありましたが、この結果を見てこれまで数年該当者の率が上がってきている個別支援の充実だけで、これは目標値が達成できるのだろうかというところが一つ非常に難しいのではないのかなという風に思っていますので、そこについてはもちろん目指したいと思いますが、個別支援・指導の充実だけでクリアできるのだろうか、ということが一つです。確認したいと思います。

それから二つ目の受け止めとしては、メタボリックシンドロームというのは一つの目安なので、目標値は設定するけれども、それほどこだわらなくてもいいのだというような受け止めができるのかどうか、専門の先生にお聞きしたいと思うのですが、それが二つ目の受け止めで。三つ目の受け止めとしては、いや違うんだ、メタボリックシンドロームは成人病のいろんなものに関係しているので、これは必ず達成すべきもの、今の課題としてはすごく重要なんだという受け止めなのか、そこによって個別指導も充実だけでいいのかどうかということに関係していると思います。

今質問したのは、学校でも望ましい生活習慣の改善、これは一つ大きな健康教育の柱になっています。ですがそれをずっと続けていますが、学年によっては多少違いまして、やはり 1 割～2 割のお子さんの生活習慣はなかなか改善しません。それはどうしたらよいかということ、ずっと学校としても課題として挙がっているので、メタボリックシンドロームについても生活習慣の改善が背景にあるという意味で、そこで何か今までと違う手立てとか、違う関わり方とかそういうのをお聞きできれば、学校でもぜひしたいと思っていますし、子どもがゆくゆくは成人になってこのメタボリックシンドロームに対する流れの中で、私自身もその一人なんですけれども、今のようなメタボリックシンドロームの結果・評価が目標値に比べて、両方とも男性も女性も低いということ、をどのように受け止めて今後やっていっていただけるのかということで、専門的な先生方もいらっしゃいますので、ぜひお聞きしたいと思います。

(柴山議長)

はい、ありがとうございます。質問の内容が非常にたくさんありますので、まずは分かっていることから順番にお答えをお願いいたします。

(丸山課長)

はい、まず一点、総括表のメタボリックシンドロームの該当者の割合のところがかくに誤りでしたので、失礼いたしました、修正させていただきます。

そしてメタボリックシンドロームの減少に向けてということで、個別支援の強化だけでいいのかということに関しましては、個別支援だけでいいとは思っておりませんので、そちらの中にもありましたが、気軽に誰でも自分に合った健康づくりを取組めるようにということで、健康づくりマイストーリー運動ということで、つばめ元気がやきポイント事業の推進なども含めまして、啓発普及といいますか、メタボなどに直面している人だけでなく、広く全般的にも健康に気を付けてもらいたいということで、そういったポピュレーションアプローチの方もやっているところであります。

そのほか、うちでやっているところでございますが、健康教育ですとか健康相談とかいろんなものを活用しまして、行っているところですが、一番はマイストーリー運動のかがやきポイントをツールとしまして、学校の方にもこども手帳ということで取り組みをお願いしておりますし、この度お配りいたしました、食生活改善推進員・保健推進委員・元気磨きたいの方と作りまして、「健康づくり3つのススメ」というのを皆さんにお配りしました。この中でもメタボに着目いたしまして、「夕食後2h(時間)ダイエット」というのを広め、要は寝る2時間前までに夕ご飯を食べましょうということとか、「まめ・ちょこ生活」ということで、まめに体を動かすことがメタボ解消につながるということ、それと「みんなでつけるポイント手帳」となっておりますが、ポイント手帳をきっかけに自分の健康づくりを振り返っていただくということで、この3つをこれから3団体とともに、それこそ今日おいでの推進委員会の委員さんですとかとつながっていき、広めていきたいと考えております。

要はメタボのハイリスク者の方に個別支援とかということで、そうでない方はポピュレーションということで広く啓発をしていきたいと考えているところです。

そして先ほどの質問の中に、メタボというのが目標値でいいのか、やはりきちんとやっていかないといけないのかということにつきましては、今燕市としましては、燕市だけでなく全国的にもメタボというのが、脳卒中ですとか、心臓に悪いとか、人工透析ですとか、いろんなところにつながっていくということで、強化していかないといけないことだと考えていますが、その辺につきましては水澤先生の方からぜひご説明をお願いしたいと思います。

(水澤副会長)

メタボリックシンドロームの概念はかつてもっとたくさんの方の困苦があったのですが、これだけそろったら悪党だ、悪者だという、かなり絞りに絞って多施設の試験を通しての、絞られた診断結果ですから、このメタボリックシンドロームの診断基準に関しては、我々ドクターから言わせてもらおうと、最低限度守っていただきたい目標値・ノルマとっていいと思います。

ただ、腹囲に関してはどうも最近、女性の腹囲と男性の腹囲を逆にした方がいいんじゃないかということで、少し議論はあるのですが、少なくともそれ以外のものに関

してはやはりギリギリの柔らかい基準となっています。

ですからこれをまず通らないことには、逆に言えばこれを全部クリアすればかなりの慢性疾患を予防できるという証拠として出ていますから、余程新しいデータが出ないと、他のものは最近、やはり筋肉・骨格筋を付けるということが非常に大事だと分かっていますので、骨格筋を付けるということの意味がメタボリックシンドロームの基準になかなか入ってこれない、それはやはり腹囲になりますね。

腹囲というのはやはり多いのは中性脂肪ですから内臓脂肪が反映していますから、筋肉が少ないということになりますから、その辺の腹囲に関しましては少し今後変化があるかもしれませんが、基本的にはいいと思います。

やはりメタボリックシンドロームの基準を最小限、最低限度にして、健康を見直していただければ今時点では大事なのかなと思います。

(柴山議長)

はい、ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

(委員)

ここ数か月ですね、すごく大きな問題となっておりますトリクロロエチレンの対応ということで、健康福祉部の対策と申しますか、その点のお話しをお聞かせいただければと思います。

(佐藤部長)

はい、それでは薬品の関係でもございますので、主管課の生活環境課、市民生活部で市の方では対応しておりますが、たまたま前生活環境課長がいらっしゃいますので、方針を分かる範囲でお聞かせいただければと思います。

(更科社会教育課長)

はい、昨年その当時トリクロロエチレンは話題にはならなかったんですけども、水質に関しては県の所管業務でございまして、市とすれば県の指導の下、地域とのパイプ役という形になりますので、県の動向を担当化の方で連絡を取りながら、今後対応を図っていくという、そういった形になろうかと思っております。以上でございます。

(委員)

気がかりなのが、発がん性があるというふうに厚生労働省が確認をしておることによって、例えば長渡地区で、10倍以上の基準値が出ていると新聞にも出ておまして、その発がん性のある実態検証とかですね、そういった部分に関しては特に燕市からは積極的な対応はしなくて、県の動向を見て確認をするという解釈でよろしいですか。

(更科社会教育課長)

はい、土壌構成を含めましてそれも県の所管業務でありますので、確認しながら県の指導の下で対応を図る、そういった形であろうかと思っております。

(佐藤部長)

本日、地域振興局からもおいでいただいておりますので、もしご発言があるようで

したらお聞かせ願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

(関保健所長代理)

本部の方に、この委員会の方でそういったご意見が出ましたということで、持ち帰り対応させていただきたいと思います。

(柴山議長)

はい、ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

まだ若干時間があるようですから、他に質問がありましたらお受けいたします。

(委員)

質問というよりは、報告をさせていただきたいのですが。燕市民でも本当にこれだけ至れり尽くせりで幸せだなと感じておりますが、実は先月、商工会女性部で、西太田にあります「わんだふるらいふ」というケアハウスに女性部 20 名くらいで参加させていただきました。

先ほど副会長さんの方からお話もありましたけど、まず病気にならないためにはどうしたらいいか、もちろんそれが一番大事なのですが、その中で感じたことは、とても元気なおじいちゃんがいらして、その方は「毎日家にいても面白くない、街に出てもちっとも何もない。夏は暑いし、冬は寒いし。でもここに来れば話ができるから。」人間にとって一番体に良くないというのは、孤独ということを、この間ニュースで見たのですが、そのためにどうしたらよいか、この人たちは社会に生きがいを持っているというふうに、私自身も感じましたし、同時に、空き家対策の件で商店街、それから市役所の方、新潟大学の方たちと、空き家店舗の利用というのをやっていますが、各町内に会館というものがありますよね。ここがほとんど祭りなど以外に使うことがなくて、そういうところに何か地域の人たちが、利用できるようなそういうものがあつたらいいなというふうに、街を走っていて感じました。

それで今回、西日本の方で大変な水害が起きましたけど、これはもう私たち燕市でも他人事ではなくて、いつどこでどうなるか分からないような状況の中で、元気でその地域で助かった方々は常日頃地域との密着があつて、近所の人たちもみんな誰がどうしてるっていうのをよく把握していて、何かあつた時はみんなで声を掛け合うとかという地域であります。我々燕市もせっかくそういう場所がある訳ですので、そういうところに高齢者の方々でも結構ですし、であれば子供達とかお孫さんとかそういう方たちと、そういう場所がいつでも歩いてそこに行けば誰かがいて何かできて、というような環境ができたらいいなと個人的に思ったので、その辺どうやったら孤独にならずに済むかというのを頭にいつもおいて考えていただきたいなという希望です。ありがとうございました。

(柴山議長)

はい、ではこの質問というか希望について市から事務局側からお答えすることはありますか。

(佐藤部長)

はい、ご意見ありがとうございます。健康福祉部全体でも、本日は健康づくりが中

心ですけれども、すべて関連があつて、地域のつながり、そして介護予防、健康づくりというところではいろんな、例えば社協さんと連携させていただいての地域支え合い活動ですとか、介護予防事業の推進ですとか、さまざまに取り組んでいるところです。

本日いただいたご意見も参考にさせていただきながら、職員の方でも検討させていただきたいと思っております。ご意見ありがとうございました。

(柴山議長)

今ほどの事務局のご説明でよろしいでしょうか。

ほかに質問はございませんでしょうか。

しばらくしてないようですから、今日の健康づくり推進委員会は全部終了ということで、進行を戻します。ありがとうございました。

(丸山課長)

ありがとうございました。最後に水澤副会長から一言ご挨拶をいただいてもよろしいでしょうか。

(水澤副会長)

座ったまま失礼いたします。今日はお忙しい中大変ご苦労様でした。私の個人ごとですけれども、15年ほど前から市役所の産業医、そこから市からの仕事として、健診関係に携わらせていただいておりますけれども、15年前と今を比べると、多種多岐にわたって親密に市民のための健康に向けての取り組みというのが見違えるほど素晴らしく出来上がってきていると思います。

これは健康福祉部の皆さま方のご苦労の結晶だと思っております。一番やっぱり物足りないのは、何かイベントをやってもやって来られる方は意識の高い方々ですが、より若い方々の参加を期待するのですが、その方々は仕事が忙しくて健康が二の次になってしまう、だからそういった人たちに何とか自覚を持ってもらうことが、何よりも今後燕市の健康づくりという意味では大事だろうと思えます。

もちろん高齢の方々の疾患を持ってらっしゃる方をきちっとお守りすることも大切ですが、やはり健康福祉部の方々も歯がゆい思いをたくさんされてらっしゃるかと思えますけれども、本当に忙しくてそれどころじゃないんだと、仕事が大変なんだと、そういった方が多い。何とかそういった方たちを自分の健康に目を向けていただきたい。「食育」ではなく「健育」といいますか、それこそ学校の小さいお子さん、そういったところからきちっとした教育といえますか、それはやはり非常に大事なんだと、今日つくづく感じました。

今日は皆さん大変お忙しいところ、また健康福祉部の皆様方、ご苦労本当にありがたいと思っております。今日は本当にありがとうございました。

(丸山課長)

水澤副会長ありがとうございました。それでは、みなさん長時間にわたりまして、本当にありがとうございました。